

講演

チーム医療を通じて国民の健康に貢献するプロの 歯科医師を目指して

宮崎 隆

●抄 録●

昭和大学は、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部の学生がそれぞれの専門領域を超えて将来チーム医療に従事できる専門医療人の育成を教育目標にしている。高齢社会においては特別な配慮の必要な患者が増えるので、歯科医療において患者の全身管理が重要である。また、摂食・嚥下・呼吸・言語などの口腔機能が生命の維持や生活の質の向上に必須であるので、長寿健康のためには口腔機能の維持と回復をおこなう歯科医療が重要になる。さらに、昭和大学は口腔ケアセンターを開設し、歯科医師と歯科衛生士が8つの附属病院の病棟で現場の医師や看護師と連携して口腔ケア業務を実践している。学生には新しい歯科医療を学習し、経験することを推奨し、将来、チーム医療に参画することを期待している。さらに、若い歯科医師は歯科医師という職業にプライドを持ち、プロフェッショナルリズムとそれに見合う力量を身につけて活躍して欲しい。

キーワード：チーム医療、高齢社会、口腔機能、口腔ケア

我が国は超高齢社会に突入し、生活機能障害が普遍化する社会に急速に移行しつつある。すなわち救命救急の時代から、幅広い医療職がチームを組んで、連携して患者の治療にあたり、患者の生活を支援する時代になった。昭和大学は、医学部、薬学部、歯学部、保健医療学部（看護学科、理学療法科、作業療法科）、および看護専門学校を擁する医系総合大学であり、「至誠一貫」の建学の精神のもとに、学部の壁を越えて将来チームの一員として連携して患者に奉仕できる専門医療人の育成を教育目標に掲げている。そのスタートは富士吉田キャンパスにおける全寮生活をもとにした初年次教育であり、4学部の学生が共同生活を送りな

がら勉学と課外活動にいそしんでいる。（図1）

高齢患者や特別な配慮の必要な患者が増え、外来だけでなく病棟や在宅における歯科治療の要請が高まりつつある。これらの患者に対して、安心、安全に歯科治療を施すためには、歯科医師は専門医療人としてこ

昭和大学の特色



- 「至誠一貫」の精神と創立80年の歴史
- 4学部(医・歯・薬・保健医療学部)
- 8附属病院からなる医療系総合大学
- 初年時全寮生活(富士吉田キャンパス)



「至誠一貫」にもとづく人間教育を実践。自ら学べ。

図1 昭和大学の特色

Fig. 1 A characteristic of the Showa University



※冬期学会講師

(みやざき・たかし)
昭和大学歯学部長
ICDフェロー

昭和大学の教育理念

「学部の専門性とチーム医療」

歯学部の教育目標

- 「チーム医療の一員として活躍できる
社会性のある歯科医師」
- 「口腔疾患を全身との関わりにおいて
把握することのできる歯科医師」
- 「問題を正しくとらえて解決でき、
学習し続ける習慣を身につけた歯科医師」

図2 昭和大学の教育理念

Fig. 2 Education philosophy of the Showa University

れまで以上に、医学的・薬学的知識を修得し、医療コミュニケーション能力や術前検査、術中術後の患者管理を実践する技能を修得しなければいけない。さらに、口腔の機能は呼吸、摂食、嚥下など生命の維持に直結し、さらに、生命の尊厳や生活の質に影響するので、歯科医師は口腔機能の育成、維持、そしてリハビリテーションを通じて、患者の命を救い、生活を支援する医療に参画することが求められている。そのために、歯科医師は幅広い医療職と連携することが重要である。(図2)

本歯学部においては、チーム医療の一員として国民の健康に貢献できる歯科医療人の育成を目標に掲げ、1) 問題解決と生涯学習コース、2) 社会と歯科医療コース、3) オーラルフィジシャンコース、4) 歯科臨床コースに括って教育を行っている。

「問題解決と生涯学習コース」では、日進月歩の医学の進歩や社会の変化に対応して卒業後最低でも40年間現役で患者に奉仕するために、学生時代に目先の知識を習得するよりも、自ら問題意識を持って解決できるように学ぶ力を身につける。「社会と歯科医療コース」では、保健医療学部や学外の施設を利用して、歯科医療を幅広く社会との関わりの中かで体験しながら学ぶ。「オーラルフィジシャンコース」では、将来特別な配慮の必要な患者の全身管理が適切にできるように、また口腔疾患と全身疾患の関係を理解して、いわゆる口腔医として内科ほかの医師と連携できるよ

昭和大学口腔ケアセンター



入院患者への口腔ケアに取り組んでいる。医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、歯学部学生などが連携して取り組む。(写真は昭和大学横浜市北部病院)

図3 昭和大学口腔ケアセンター

Fig. 3 The Showa University Oral Care Center

うに体系的に学ぶ。本学は「昭和大学口腔ケアセンター」を正式に発足させ、8つの附属病院すべてで、入院患者の口腔ケアを現場の看護師等と連携して実施する体制を整備したので、今後、医科病院での病棟実習を導入する。(図3)

歯科医療を取り巻く環境は厳しいと言われている。しかし、超高齢社会を迎え、国民が長寿健康を全うするために、口腔ケアを通じて生命を救い、摂食機能を回復して生命の尊厳を回復し、さらに口腔機能の維持により生活の質を向上することが重要であり、歯科医師への期待と歯科医療が果たす役割は大きい。しかし、これらは歯科医師がこれまでのように単独でき

昭和大学が期待する歯科医師

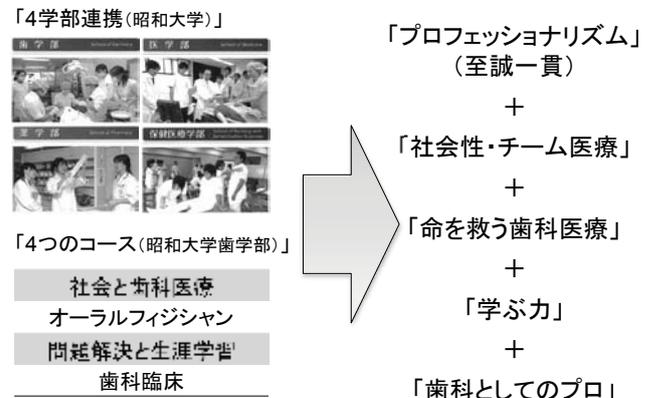


図4 昭和大学が期待する歯科医師

Fig. 4 The dentist whom Showa University expects

ることではなく、医療チームの一員として専門の立場から参画して連携医療を推進することによって可能になる。一方で、歯科医師としてのプロ意識と力量が求められる。他職種から専門の歯科医師として信頼されなければいけない。これからの歯科医療を担う若い世

代は、先輩達が血の滲む努力で築いてきた歯科医師の身分と業務内容にプライドを持ち、さらにチーム医療、連携医療を通じて国民の健康に貢献できるように夢を持って頑張ってもらいたい。(図4)

Achieving a new model for the dental profession that contributes to people's health through a team approach

Takashi MIYAZAKI

Dean, School of Dentistry, Showa University, F.I.C.D.

The focus of education at Showa University is to apply a team approach that goes beyond any specific professional field within the Schools of Medicine, Dentistry, Pharmacy, and Nursing and Rehabilitation. This is especially important for elderly and medically compromised patients that need special dental care. Oral functions such as aspiration and speech are crucial to maintain life and increase its quality; however, dysfunctions like dysphasia and swallowing disorders prejudice our quality of life. Therefore, we put much effort into the maintenance and rehabilitation of oral functions. We have established the Showa University Oral Care Center, and its faculty members, along with dental nurses from the dental hospital, visit wards of 8 affiliated hospitals to undertake oral care alongside medical doctors and nurses. We strongly encourage our students to study and experience this new style of dental service. We hope they will actively participate in such team driven medical services in the future. We also encourage and expect young dentists to have a pride in their profession, and to serve their patients professionally and with advanced skill.

Key words : Team Medical Service, Aging Society, Oral Function, Oral Care